

シンフォニー

地域と医療が奏でる♪

NO.
64
September

年3回発行(1月・5月・9月)

*Our hospital provides
advanced cardiovascular
care.*
当院は高度な循環器医療を提供しています。



特集：多職種チームで支える循環器医療

各々の高い専門性の役割(看護師・診療放射線技師・臨床検査技師・臨床工学技士)

多職種チームで支える循環器医療

外来看護師

診療放射線技師

臨床検査技師

臨床工学技士



様々な循環器病に対して
チームで支える医療を実践しています



外来看護師

血管造影室では、心臓や脳などの疾患が疑われる患者さんに対して、原因の診断や治療を目的とした検査を行っています。検査では、X線透視下でカテーテルを血管内に挿入し、造影剤（血管を抽出する薬剤）を注入して血管の状態を観察します。必要に応じて、検査と同時に治療を行うこともあります。

主な検査には、頭部（脳）血管造影、腹部血管造影、冠動脈造影（心臓カテーテル検査）などがあります。

患者さんの中には、検査や治療に対して不安や緊張を感じながら入室される方も少なくありません。また、医療スタッフも感染対策や放射線防護のためにマスクや帽子、防護服を着用していることから、緊張感を感じられる場合があります。

私たち看護師は、検査前に検査の流れや注意事項について説明し、患者さんが安心して検査・治療を受けられるよう介入しています。また、検査中も適宜声かけを行いながら状態を観察し、医師や多職種と連携して患者さんが不安を少しでも軽減できるよう努めています。

2026年4月には新たな循環器カテーテルチームが発足しました。今後もより一層最先端の治療が安全・安心して行えるようサポートしていきたいと思います。



診療放射線技師

診療放射線技師は、心臓カテーテル検査・治療において、医師が安全かつ正確に診断や治療を行うための画像を提供する重要な役割を担っています。

血管撮影装置を操作し、冠動脈や心臓の構造を鮮明に描出できるように、患者さんの体格や病状に応じて最適な撮影条件や撮影角度を設定します。

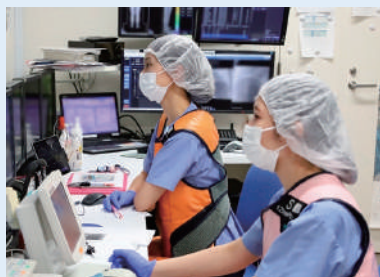
また、検査・治療中はリアルタイムで画像を提供し、医師の手技を支援しています。

さらに、放射線被ばくを可能な限り低減するため、透視時間や撮影回数の管理、撮影条件の最適化を行い、患者さんと医療スタッフ双方の安全確保に努めています。

血管撮影装置の点検や品質管理も担当し、常に安定した画像品質を維持しています。

急性心筋梗塞などの緊急症例では、迅速な検査準備と的確な対応が求められます。

診療放射線技師は医師や看護師、臨床工学技士と連携しながらチーム医療を支え、質の高い画像提供を通じて患者さんの早期診断・治療に貢献しています。



臨床検査技師

私たち臨床検査技師は、心臓カテーテル検査の前後に必要なさまざまな検査を通して、患者さんの心臓病を見つける役割を担っています。

検査には心電図、運動負荷心電図、心臓超音波、採血による検査データなどがあり、狭心症や心筋梗塞、弁膜症、心不全などの心疾患の発見や状態の評価を行っています。

例えば、心電図検査では心筋梗塞や狭心症が疑われる波形の変化を捉えます。採血検査では心筋梗塞の際に血液中へ放出される物質を検出することで、早期のカテーテル治療が重要となる心臓病の早期発見に役立っています。心臓カテーテル治療後には心臓超音波検査で心筋の動きや心機能の状況を確認し、治療効果の評価に重要な役割を果たしています。

正確な検査結果を迅速に医師へ提供することで、患者さんが必要な治療を適切な時期に受けられるよう支援しています。

これからも、検査の専門職として正確な情報を提供し、循環器診療を支える一員として日々の業務に取り組んでまいります。



臨床工学技士

血管造影室では、心筋梗塞や狭心症などの循環器疾患に対するカテーテル治療が日々行われています。その中で臨床工学技士は、医療機器の専門職として治療を支える重要な役割を担っています。

臨床工学技士は、治療中のモニタリングや機器管理を行う「外回り業務」を担当し、患者さんの状態

変化に迅速に対応できる体制を整えています。また、IVUS（血管内超音波）やFFR（冠血流予備量比）の操作を行い、血管の狭窄状態や治療効果を詳細に評価することで、より精度の高い治療に繋がっています。さらに「清潔介助業務」として、医師の近くで治療をサポートし、安全かつ円滑に手技が進行するよう努めています。急変時にはIABP（大動脈内バルーンパンピング）やECMO（体外式膜型人工肺）などの補助循環装置の準備・操作にも対応し、迅速な循環補助を行っています。

臨床工学技士は他職種と連携しながら高度医療を支え、安心・安全な医療提供に貢献しています。





循環器内科の新体制

地域住民の皆様へより質の高い、
切れ目のない医療を提供

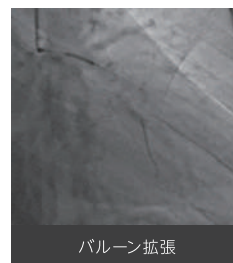
循環器内科 医長 石橋 峻医師



2026年4月から当院循環器内科は自治医科大学附属さいたま医療センターの循環器内科と強固な人事・診療連携体制のもと、新たな診療体制へと移行することになりました。それに伴い今まで以上に超急性期疾患、緊急カテーテルに対応できるようになりました。私が入職してから3ヶ月間の診療実績を含めて当院循環器内科をご紹介します。

急性心筋梗塞とは

急性心筋梗塞は、心臓の血管(冠動脈)が血栓やプラークで詰まり、心臓の筋肉に血液が届かず壊死する病気です。突然の激しい胸痛や冷や汗が特徴で、命に関わるため一刻も早く、カテーテルで血管を広げる緊急治療が必要です。



当科の診療体制

3名の循環器内科常勤医で診療を行なっています。加えて、3名の循環器内科非常勤医と3名の心臓血管外科非常勤医が外来診療を行なっております。集中治療、カテーテル治療、心不全治療は多職種での協力が必須であり、集中治療医、救急科医、看護師、薬剤師、臨床工学技士、診療放射線技師、臨床検査技師、リハビリ科、栄養科、医療ソーシャルワーカーと密に連携をとっております。多職種で協力し合うことで、より良い診療ができるように努力しております。



第1回 多職種勉強会 大宮レイボックホール

新規導入医療機器

ECMO (エクモ) : 体外式膜型人工肺

重い病気で心臓や肺の機能が急激に落ちたとき、足の血管に太い管を入れて、血液を体の外に出して機械で酸素を与え、体に戻す生命維持装置です。心臓の病気(急性心筋梗塞、急性心不全)では、さっきまで元気で話していた方がいきなり心肺停止になってしまうことがあります。そのような急変にもECMO(エクモ)導入したことで対応できるようになりました。



第1回 エクモシミュレーション

ロータブレーター

心臓の血管(冠動脈)が細くなる病気(狭心症)のカテーテル治療の際に使用する装置です。冠動脈の動脈硬化が進行して石のように石灰化すると通常の風船で膨らませるカテーテル治療だけでは不十分なことがあります。その際にロータブレーターを使用します。先端にダイヤモンド粒子で覆われた高速回転するバーがあり、石灰化した冠動脈を削ります。

診療実績

2026年4月1日～7月15日

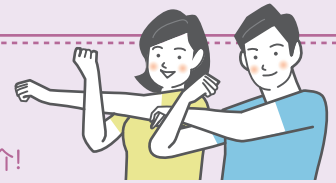
●冠動脈造影検査 77件
●経皮的冠動脈形成術・ステント留置術 ... 48件
(うち急性心筋梗塞に対して) ... 21件

●新規ペースメーカー留置術 7件
●ペースメーカー電池交換術 3件



健康たいそう講座

当院リハビリテーション科スタッフがおすすめの体操をご紹介します!

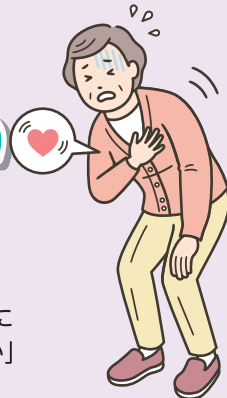


心不全と 診断されたことのある方の運動

最重要!!

運動を始める前の「大前提」

必ず主治医の許可を得て、受診時に「家でどの程度の運動をしていいか」を必ず確認してください。



以下の症状が一つでも出現している時は、運動を絶対に中止し、安静にするか医療機関へ連絡してください。

- ☐ 足の甲やスネのむくみが急に強くなった
- ☐ 数日で体重が1~2kg急増した(体に水がたまっている)
- ☐ じっとしていても息苦しい、横になると息が苦しい
- ☐ 胸の痛み、圧迫感、動悸、めまいがある

自宅でできる運動療法

1. 椅子に座ってできる運動(おすすめ)

足踏み

膝を上にあげる事を意識する



膝伸ばし

しっかりとひざを最後まで伸ばす



座って踵上げ

ふくらはぎにしっかり力を入れる



2. 立って行う運動

つま先立ち(踵上げ)

椅子などにつかまって



スクワット

息を止めず ゆっくりと行う



片足立ち(バランス)

何かにつかまってもいい



運動の強度について

ポイント! 目安は「楽しい」～「少しきつい」

50% 楽である 60% 少しきつい 70% きつい 80% かなりきつい 90% 非常にきつい

呼吸が楽で
会話ができる



呼吸が速くなり
会話がしにくい



呼吸が荒く
会話が困難



少し疲れたら
ペースを落とすか
休憩してください



感染対策の指導や相談から、抗菌薬適正使用チーム (AST) の一員としても活動



私は2025年に感染管理認定看護師教育課程を修了し、感染管理特定認定看護師の資格を取得しました。感染管理認定看護師の役割は、根拠に基づく専門的な知識を活かし、患者さんやご家族、医療従事者を感染から守る事です。

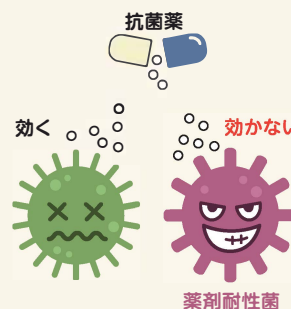
感染管理特定認定看護師 仲間 智恵



感染症は適切な予防や対策を行うことで拡がりを防ぐことができます。手洗いや手指消毒をはじめとする感染対策の指導や相談、職員教育、感染症発生時の対応、地域の医療機関と連携した研修などを行い、安全で安心できる医療環境づくりに取り組んでいます。

また、これらに加え特定行為の「感染に係る薬剤投与関連」を活かし、医師・薬剤師・臨床検査技師と共に、抗菌薬適正使用チーム (AST) の一員としても活動しています。

抗菌薬 (抗生物質) は、感染症の治療に欠かせない薬ですが、使い過ぎや不適切な使用では薬に強い抵抗力を持つ細菌が生き残り、本来は効果のある抗菌薬が効きにくい「薬剤耐性菌」を増やす原因となります。対策をとらないと2050年には薬剤耐性による年間死亡者数が全世界で1000万人に達し、がんによる死亡者数を上回ると予測されており、抗菌薬の適正使用は未来の医療を守るために欠かせない課題です。患者さんの状態や検査結果を踏まえ、最適な抗菌薬が安全に使用されるよう、これからもチームで継続的に支援していくことが重要だと考えています。



薬剤師のつぶやき..

知っておきたい心不全の治療薬

心不全の薬物療法では、今ある息切れやむくみを和らげるだけでなく、これから先の経過をよりよくすることも大切です。近年は心不全に効果がある薬を組み合わせる治療が重視されており、これにより入院を減らし、元気に過ごせる期間を延ばせることがわかってきました。

心不全の薬は、症状が消えたから終わりではありません。心臓のリモデリング (悪化の連鎖) を食い止めるために、症状が落ち着いても継続することが大切です。

自己判断で中止せずに、気になる症状や副作用があれば早めに医療者へご相談ください。

	薬の名前	薬の作用
ACE阻害薬 ARB	エナラプリル カンデサルタン等	血管を広げ、心臓の負担を減らします。
ARNI	エンレスト	血管を広げ、心臓を保護するホルモンを増やします。
β遮断薬	ビソプロロール カルベジロール	心臓の過剰な動きを抑え、心筋の疲れを防ぎます。
MRA	スピロラクトン エプレレノン	心筋の線維化 (硬くなること) を防ぎます。
SGLT2阻害薬	ジャディアンス フォシーガ	尿と一緒に糖や塩分を排出します。

その他、薬の種類が多くて大変、飲み忘れが怖い、粒が大きくて飲みにくい、といった悩みがあれば、いつでもお声がけください。一包化や剤型変更の検討や、また、昔から飲み続けている薬の中に不要なものがないかを確認し、医師と連携して、安心して治療を続けられるようお手伝いします。



栄養 アラカルト

少しでも入院中の楽しみになるよう、毎月様々な特別メニューを提供しております。



注目! グリーンバナナの隠れたチカラ

黄色く熟したバナナは、甘くておいしいです。でも、スーパーでよく見かける「少しグリーンなバナナ」にも、実は注目したい栄養成分が含まれています。それは、レジスタントスターチ（難消化性デンプン）です。

1 血糖値が上がりにくい

レジスタントスターチは、“小腸で消化されず、大腸まで届くデンプン”で、食物繊維のように働くのが特徴。消化吸収をゆっくりにし、食後の急激な血糖上昇を抑える働きが期待されています。



2 腸内環境を整えてくれる

グリーンバナナには、レジスタントスターチの他に、「食物繊維」と「フラクトオリゴ糖」も含まれており、腸内細菌のエサとなって、腸内環境をサポートしてくれます。



黄色いバナナとはまた違った魅力のある“グリーンバナナ”。ぜひ一度、お試しあれ♪



グリーンバナナの腸活サラダ

材料（2人分）

- グリーンバナナ …… 1本
- きゅうり …… 50g
- にんじん …… 30g
- ギリシャヨーグルト …… 大さじ2
- マヨネーズ …… 大さじ1
- レモン汁・塩・黒こしょう …… 少々

※更に、オートミールやナッツを加えてもおいしい

作り方

- ①バナナを輪切りにし、電子レンジで約1分加熱（少しやわらかくなるまで）
- ②きゅうり・にんじんを薄切りにする
- ③調味料と全ての材料を混ぜ、味を整える



近隣施設紹介



田口医院

当院は大正時代に蓮田で開業して以来、時代の変化に合わせながら診療を続けてきました。しかし、「地域に根ざした医療」を大切にしている姿勢は今も変わりません。小児科・内科を代々継承してきたこともあり、親子三世代、四世代にわたり通院して下さるご家庭も多く、地域の皆さまと共に歩んできた歴史を実感しています。

当院には毎年ツバメが帰ってきます。その姿にちなみ、世代を超えて安心して通い続けていただけるクリニックを目指し、ツバメをシンボルマークとしています。外来・訪問診療に加え、循環器・呼吸器・腎臓の専門外来も行い、地域医療に貢献しています。

医療機関名	田口医院
住所	埼玉県蓮田市上2-2-6
電話番号	外来：048-768-0179 訪問診療：048-769-5062
理事長	田口 悟
外来時間	月～土曜日 9:00～18:00 休診日 水曜日午後・土曜日午後・日曜日・祝日 【訪問診療】月～土曜日 9:00～18:00 休診日 日曜日・祝日



「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展に参加して

埼玉県立がんセンターが主催している「「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展 埼玉県リレー2025」に参加の依頼を受け、2026年3月23日から4月11日の期間、当院でもパネルを展示しました。

遺伝性がんには、代表的なものとして、遺伝性乳がん卵巣がん症候群やリンチ症候群（大腸がんなど）が挙げられます。がんそのものが遺伝するわけではなく、「がんになりやすい体質」が遺伝する仕組みです。ゲノム医療や遺伝子検査の技術が発達したことにより、遺伝性がんの診断や対策は進歩しています。一方で、遺伝性がんと診断された患者さんやご家族の思いは非常に複雑であり、遺伝性がんに関する理解を深め、同じような悩みを抱える方々やそのご家族の支えになればと考え、今回参加しました。

埼玉県立がんセンターが作成したアンケートがありますので、展示をご覧になった方はQRコードから入力が可能です。



今後とも地域の皆様に貢献できるような環境作りに努めてまいります。

■ 診療実績

(2026年3月～2026年6月平均)

入院稼働率	91.8%	救急搬送件数	487件/月
1日平均入院患者数	302.1人	手術件数	297件/月
平均在院日数	14.1日	紹介患者数	957件/月
1日平均外来患者数	497.6人		



■ 交通案内図



JR	宇都宮線・湘南新宿ライン・上野東京ライン 「土呂駅」東口より 徒歩約11分
東武アーバンパークライン	「大宮公園駅」より 徒歩約9分
自動車	首都高速埼玉新都心線「さいたま見沼」ICより 約18分 東北自動車道「岩槻」ICより 約21分

健康講座を開催しました

13:00～13:40 講義
癌から健康を守るための生活習慣

13:50～14:10 体験授業
癌の早期発見・予防のための検診体験

14:30～15:00 手術室見学
検診・検定・検定・検定

次の健康講座は整形外科で開催予定

